

第1回逗子市地域自治システム池子小学校区懇話会 会議概要

日 時：平成 25 年 3 月 17 日（日）14：00～16：00

場 所：逗子市立体育館第一会議室

出席者：

（メンバー）松並メンバー、大澤メンバー、齋藤メンバー、野田メンバー、横田メンバー、細川メンバー、伊藤メンバー、村上メンバー、倉部メンバー、相川メンバー、吉田メンバー、松枝メンバー、奥村メンバー、漆垣メンバー（代理立川氏）

（アドバイザー）名和田法政大学法学部教授

（市）市長、副市長、平野経営企画部長、谷津経営企画部次長、廣末企画課長、仁科企画係長、稲井主事、森本市民協働部担当部長、細野市民協働課専任主査、木下市民協働コーディネーター

議事概要：

1. 開会（廣末企画課長）

- 市長挨拶
- 名和田先生アドバイザー紹介
- 職員紹介

2. メンバー紹介

- メンバー自己紹介

3. 懇話会の趣旨について（廣末企画課長）

- 懇話会の目的
- 今後の予定
- 検討する内容及び今後の進め方等
- 座長・副座長の選出
 - ・座長、副座長は選出せず、当面の間は事務局で進行を行うこととなった。
 - ・6月下旬に開催する予定の全体懇話会への出席者の選出は後日行うこととなった。
- 市長から制度の検討状況（事業、地域包括交付金、地区担当職員、地域活動拠点等）について説明

（メンバー）地区担当職員についてだが、地区の担当者は1校区あたり1名なのか、それとも1校区あたり複数名のチーム制なのか。

（市長）複数名のチーム制である。ほかの自治体では専任の職員をおくところもあるが、本市の職員数の状況では専任の職員を置くのは難しい。また、専任だと縦割りのセッションがひとつ増えるだけなので意味がないと思っている。もちろん、専任のほうがスムーズ

に進むという議論はある。小田原市では専任でおいたと聞いているが、任命された職員は土日も夜も関係なく負担が重く、相当なハードワークであると聞いている。本市においてはまずは全庁体制で実施し、必要に応じて軌道修正していきたい。

(メンバー) いわゆる行政の縦割りについて、今まで地域の課題は市の担当部署にそれぞれ検討してもらっていたのが、これからは一括して検討してもらえるのか。

(市長) 行政でもそれぞれの役割分担があるので、避難所運営なら防災課、ごみなら資源循環課がというところは変わらない。しかし、地域の課題は重なっており、例えば、障がい者や高齢者などの災害時要支援者対応など、福祉部と防災課でコミュニケーションをとり問題意識を共有する必要性が高まっている。地区担当職員制度は地域のなかの色々な分野の課題を部局横断的に共有し連携して取り組めるように機能させたい。

4. 「都市内分権」の基礎知識 (名和田アドバイザー講話)

5. その他

○ 次回の日程

- ・ 第2回の日程については、5月12日(日) 10:00~12:00に決定した。